

令和2年度 第1回滝沢市文化財調査委員会議 議事録

令和2年7月17日(金) 滝沢市役所2階 201会議室

【会議内容】進行:(事務局)佐々木澄子 文化振興課長

開始時刻15時

発言者	内容
<p>(事務局) 佐々木課長</p>	<p>本日の会議は、委員5名中5名のご出席をいただいております。</p> <p>滝沢市文化財調査委員会議運営規則第3条第2項の規定により、委員の半数以上が出席しておりますので、本日の会議が成立することをご報告申し上げます。</p> <p>ただ今から、令和2年度第1回滝沢市文化財調査委員会議を開催いたします。</p> <p>教育長 熊谷雅英よりご挨拶申し上げます。</p>
<p>熊谷教育長 (挨拶)</p>	<p>令和2年度第1回滝沢市文化財調査委員会議開催にあたり、一言、ご挨拶を申し上げます。</p> <p>まずはお詫びとなりますが、3月13日開催予定でありました、令和元年度の第3回滝沢市文化財調査委員会議につきましては、コロナウイルス感染症のためやむなく中止させていただきました。お忙しい中、日程等を調整していただきました委員の皆様、誠に申し訳ございませんでした。</p> <p>今回の会議につきましては、コロナウイルス感染症予防対策をとりながら開催させていただきますので、ご協力のほどお願い申し上げます。</p> <p>さて、今年度は、渡辺修二先生を新たな委員としてお迎えしております。渡辺先生には、平成29年から3ヶ年、カワシンジュガイ生息調査を指導していただきました。引き続き委員として指導の方をよろしく願いいたします。また、今年度再任いただきました光井委員、上白石委員におかれましても、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>滝沢市教育委員会では、文化財等の保護整備や、掘り起こし、郷土史「滝沢市の歩み」を活用した歴史講座による郷土理解等、地域文化財の保存と活用について取り組んでいるところでございます。特に、先ほど視察でみていただきました民具につきましては、今年度から市内小学生の郷土学習に活用してまいります。</p> <p>本日は、どうぞよろしくお願いいたします。</p>

<p>(事務局) 佐々木課長</p>	<p>今年度第1回目の会議でございますので、改めて委員の皆様のご紹介と、4月から新しい体制になりました教育委員会事務局の紹介をさせていただきます。</p> <p>本日の資料の表紙裏面をご覧ください。恐れ入りますが、名簿の順に自己紹介していただいてもよろしいでしょうか。(委員自己紹介)引き続き職員の紹介をさせていただきます。(佐々木より職員紹介)</p> <p>それでは、議事に入ります前に「会議録署名委員の指名」ですが、前は、平塚委員にお願いしておりました。署名は委員長と委員1名の署名となりますことから、今回は、渡辺委員にお願いしたいと思いますがよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>では、渡辺委員よろしくお願いいたします。会議録署名は会議録作成後に日程調整の上、事務局がお伺いいたしますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>議事の進行であります。滝沢市文化財調査委員会議運営規則第2条第4項の規定により、委員長が会議の議長となることとなっておりますが、今回の議案第1号により、委員長が選任されるまでの間、私が進行を務めさせていただきます。</p> <p>それでは、議案第1号 委員長及び副委員長の互選についてでございますが、令和2年4月1日付け委員改選に伴う選出となります。</p> <p>自薦、他薦等、選任方法についてご意見を頂戴したいと思います。</p> <p>(事務局一任の声)</p> <p>事務局一任の声がありましたので、事務局案を提案させていただきます。事務局案としましては、引き続き委員長に光井委員、副委員長に越谷委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>異議なしとのことですので、光井委員長、越谷副委員長よろしくお願いいたします。任期は2年となります。</p> <p>それでは、光井委員長及び越谷副委員長からご挨拶をお願いいたします。</p>
<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>(挨拶)</p>
<p>(副委員長) 越谷副委員長</p>	<p>(挨拶)</p>

<p>(事務局) 佐々木課長</p>	<p>ありがとうございました。 それでは、これからの進行は、光井委員長にお願いします。</p>
<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>それでは議事を進めたいと思います。  報告第1号 令和2年度滝沢市文化財事業及びの進捗状況について  事務局から説明をお願いします。</p>
<p>(事務局) 井上総括主査</p>	<p>(埋蔵文化財関係 資料に基づき説明)</p>
<p>(事務局) 大井主事</p>	<p>(文化財関係 資料に基づき説明)</p>
<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>はい、ありがとうございます。では、文化財関係とそれから埋蔵文化財関係と2つに分けて、皆さんから質問、ご意見を頂きたいと思います。最初に、文化財関係で4ページから5ページ、それから飛んで8ページ、9ページです。そこから皆さんから何かご質問、ご意見ございましたらお願いしたいと思います。  私からあるのですが、今、コロナで色々練習ができないと思うのですが、郷土芸能の子供たちは、どういう工夫をされているのか、また実際に活動をしているのか、そのあたりを分かりやすく教えてもらえませんか。</p>
<p>(事務局) 大井主事</p>	<p>郷土芸能保存団体の事に関しましては、現在活動している団体様と活動していない団体様とで分かれている状況になっております。直近の事で申し上げますと、滝沢市さんさ踊り保存会さんの方からは、先日、IBC様の方から取材の依頼を受けたりしていました。その中で活動をこれから再開していくという見通しのお話をいただいております。それ以外の団体の事に関しましては、まだ活動については、検討しているというお話でした。以上の報告となります。</p>
<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>ありがとうございます。その他、どなたからかご質問、ご意見ございませんでしょうか。</p>

<p>(事務局) 佐藤教育次長</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の関係で、例年であれば、学校開放を活用しながら、各団体さんが活動しているのですが、今、学校につきまして小学校、中学校の子ども達だけの活動に限らせて頂いているという所です。活動場所が今はないという状況の中で、今後の活動については、各団体で検討しているという所であります。</p>
<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>ありがとうございます。皆さんから無いでしょうか。 では、私からですが、8ページの5月26日餓死供養塔の草刈りという事ですけど、例年職員の方でやられていると思いますが、具体的には何人で何回実施して、これからも継続して実施するのかという事を教えて頂ければと思います。</p>
<p>(事務局) 井上総括主査</p>	<p>例年ですといつもチャグチャグ馬コ前にやっていました。今回は、5月26日に一度草刈りをして、あと昨日も一度草刈りしました。今後は状況見ながら、年何回という訳ではないですが、最低でも4回ぐらいは、草刈りするような状況になっています。</p>
<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>ありがとうございます。これからもよろしくお願ひしたいと思えます。では、委員の皆さんから文化財関係について何かご質問ないでしょうか。では、埋蔵文化財関係について進めさせていただきます。7ページ、それから10ページ、11ページ、その中からご質問、あるいはご意見いただければと思います。</p>
<p>(副委員長) 越谷副委員長</p>	<p>10ページの埋蔵文化財関係の今後の予定と、進捗状況の方ですが、調査研究で台帳整理、写真をデジタル化する事業をされるという事ですが、それ自体は今後もやっていただければと思います。これは将来的には公開もしくは一般の人を含めて、あるいは、制限された人達だけの公開になるか。その辺の見通し等がございましたら教えていただければと思います。</p>
<p>(事務局) 井上総括主査</p>	<p>収蔵展示の方は一般にも全て見せるという事でやっています。展示室の展示品と収蔵庫もありますが、収蔵庫の方を一般の人が見て分かるようにするため、国庫補助を入れて直しています。</p>
<p>(副委員長) 越谷副委員長</p>	<p>デジタル化されるという事は、遺物は収蔵庫に行かないと見られないと思えますが、ホームページとかでデジタル写真を公開するような将来的なお考えがあれば、お聞かせください。</p>

<p>(事務局) 井上総括主査</p>	<p>将来的には、ホームページにも公開を考えています。現在、写真をデジタル化しているのは、発掘調査で実際撮った写真で、それは結構、劣化し始めています。カラースライドなど、それをデジタル化して保存するという目的が最初です。いずれ全てデジタル化がうまくいけば、ホームページ公開とかも一応少しずつ随時考えていきたいと思っていました。報告書もPDF化して公開したいと考えています。</p>
<p>(副委員長) 越谷副委員長</p>	<p>アクセスしやすくなると、いろいろな方がご覧になる事があると思います。例えば私のような分野ですと、地層の化石みたいな記事をアクセスする事があるのですが、もしデジタル化されていると、非常におそらくそういう分野で、アクセス数がとれると思います。いつとは言いませんがご検討いただければと思います。</p>
<p>(事務局) 井上総括主査</p>	<p>将来的にはそれをやる為に、一応そのデータを今集めている状況です。</p>
<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>将来に向けて文化財の活用という形での方向性で、一応よろしくお願ひしたいと思います。その他皆さんから、ご質問、ご意見ございませんでしょうか。</p>
<p>(事務局) 井上総括主査</p>	<p>一般文化財の補足で、前回、光井委員長からもお話のありましたチョウセンアカシジミの現地調査という事で、今年度実施しました。ページ数でいうと8ページになります。事務局として、10年近く生息を見ていなかった状況がありまして、教育長が現地に行ったのが、たぶん最後だと思います。ちゃんと観察しなければいけないという事で、今回、川口議員さんと渡辺委員さんとご一緒して、課長と私で巢子川の生息地で、チョウセンアカシジミの生息調査を4月16日に実施しました。所有者の方の畑にデワノトネリコがあり、そこで卵を約300個確認しました。その写真を9ページに載せております。</p> <p>今回その進捗状況が6月30日現在になっていますが、そのあと7月7日に生息調査を、同じメンバーで、改めて見に行きました。その写真が裏の20ページになります。</p> <p>私が撮った写真です。成虫が結構飛んでいました。具体的なカウントはしていませんが、20匹以上はいるという事で確認しました。このとおり成虫の写真を撮れました。今年状況を見る限りは、チョウセンアカシジミの生息状況は、良好と思っております。これからも随時確認しながら観察していきたいと思っています。</p>

<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>はい。ありがとうございます。デワノトネリコの木は、そのまま保存されているのですか。</p>
<p>(事務局) 井上総括主査</p>	<p>良く保存されていました。</p>
<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>比較すると同じ、もしくは、極端に減少しているとかはなかったですか。</p>
<p>(事務局) 井上総括主査</p>	<p>無いと思います。</p>
<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>現状では、このまま見守っていくという形ですか。</p>
<p>(事務局) 井上総括主査</p>	<p>チョウもその年によって増減があると思いますが、今回の場合は卵300点、そのうち成虫になるのがその一割で、それくらいは成虫として成長したと考えられます。</p>
<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>気になっていた事を確認していただきありがとうございます。埋蔵文化財関係で皆さんからご質問、ご意見ないでしょうか。 私の方から3件ほどお聞きします。 1つは、埋蔵文化財包蔵地の確認という事で88件ですが、そのうち何件が埋蔵文化財包蔵地、もしくは隣接地に該当しているというか。把握していれば教えて頂ければと思います。 それから、2つ目ですが、試掘調査で4件になっていますが、どのぐらいの面積で、具体的にはどのような試掘をやった結果という事を教えて下さい。調査遺跡が4件となっており、遺跡名は3つとなっていますが、その理由を教えてください。</p>
<p>(事務局) 井上総括主査</p>	<p>埋蔵文化財包蔵地の確認で合計88件のうち、包蔵地もしくは隣接地に該当する事例は10件から12件です。包蔵地に該当するのですが、もうすでに調査、開発済の事例もそのなかにあります。もう一つ、埋蔵文化財調査4件で遺跡名が3件になっている事例は、風林遺跡が2件あったことによります。実際の調査は、個人宅地、農家の倉庫などで、基礎工事立会を行う形にしています。大体が造成済の場所が多く遺跡はあまり発見されていません。</p>

(委員長) 光井委員長	該当している 10 件か 12 件のうちの 4 件が、この試掘だったという事ですか。
(事務局) 井上総括主査	書類上は 12 件来ているのですが、実際に開発が行われたのは 4 件です。その他も開発が実際に進めば、試掘することになります。
(委員長) 光井委員長	書類上だけ来ているという事ですね。
(事務局) 井上総括主査	届け出は来るのですが、それがなかなか開発が具体化しない事例もあります。
(委員長) 光井委員長	開発をやめることもあるという事ですね。
(事務局) 井上総括主査	結構多いです。今のところ 4 件以外で、残り 3 件あるのですが、家の宅地建設まで至っておらず、まだ連絡が来ていません。コロナの影響かもしれませんが、去年の 30 件に比べ、試掘の件数が減っています。
(委員長) 光井委員長	件数も少ないということですね。はい。ありがとうございます。では、ほかの委員の皆様からご意見、ご質問がございましたら、お願いいたします。 では無いようですので、第 1 号は終わりたいと思います。では、報告第 2 号民具保管庫の公開についてという事でよろしくようお願いいたします。
(事務局) 安ヶ平主事	(資料に基づき説明)
(委員長) 光井委員長	はい。ありがとうございました。では、報告第 2 号の民具保管庫の公開について、先ほども見ていただいたので、ご意見をいただきたいと思います。委員の皆さんよろしくようお願いいたします。

<p>(委員) 上白石委員</p>	<p>はい。ちょっとお尋ねしたいのですが、1 クラスをホールに入れると想定しているとの事ですが、その際に、立会う職員は何人になるのですか。ちょっと 35 人というのは、多いと感じます。担任の先生に見回りをお願いするとしても、1 クラス 1 人では足りない気がします。35 人でどのくらい担当する予定になっていますか。</p>
<p>(事務局) 大井主事</p>	<p>はい。当初は 1 名で考えておりました、学校の先生と協力して、なるべく、職員が 10 人に 1 人ぐらいの割合で、配備できればいいと考えていました。今のお話を聞きまして、35 人であれば、課としても職員を 2 人、先生 1 人の計 3 人を配備出来るよう検討していきたいと思えます。</p>
<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>はい。だいたい 10 人程度を目安にしているという事ですね。今日私たちが見学しても 10 人未満でしたが、解説もだいたい 1 人でちょうど良い。学校の場合、班ごと、もしくは 6,7 名に 1 名の解説がいいと今日見て思いました。子供たちは飽きやすいだろうから、30 分ぐらいが限界ではないでしょうか。折角の機会なので、今、指摘されたように進めていっていただいて、改良していったら、より成果が上がると思えます。クラスが必ず 35 人とは限らないので、人数に合わせて対応していただければと思えます。その他、ご意見、ご質問はございませんでしょうか。</p>
<p>(委員) 渡辺委員</p>	<p>見学の件ではありませんが、保管と管理の方で、一般文化財の害虫についての対策は、どのようにお考えですか。</p>
<p>(事務局) 井上総括主査</p>	<p>特にまだ防虫に関しては、まだ何も行っていない状況です。県立博物館で実施している燻蒸について、予算が取れば相談して、燻蒸時に貴重な民具を持ち込み、実施したいと思っています。</p> <p>管理状況については、保管と展示を行っており、収蔵展示のような状況にはなっています。</p>
<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>そうですね。民具の燻蒸に関しては、県立博物館と相談しながら進めるという形ですか。</p>



<p>(事務局) 井上総括主査</p>	<p>タイミング次第です。民具の保管については、燻蒸も少し考えないといけないと思います。</p>
<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>貴重な民具ですので、よろしくお願ひしたいと思います。その他、皆さんからごさいませんでしょうか。</p>
<p>(委員) 上白石委員</p>	<p>今日、改めて拝見させていただいて、興味を持った箇所が三ヶ所ありました。</p> <p>一つが、わら細工で、これを触った時に、すごく軽いと驚きを感じましたので、同じ感じを体験させてあげたい。</p> <p>それから、もう一つ、お重と弁当箱ですが、組み立て式というか、中でいろいろと分かれているのを見せてあげたい。</p> <p>3つ目が、嗜好品の所に、雛人形が入っていて、キセルの左側に、ままごと道具があつて、それは子供達がやっぱり注目するところかなと思いますので、独立させたらいかがでしようか、という所です。</p>
<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>ありがとうございます。その他、今日見ていただいて、ご感想とかご意見ごさいませんでしょうか。</p>
<p>(事務局) 井上総括主査</p>	<p>体験コーナーだけ、触れるようにしているのですが、体験コーナー以外でも職員がついていれば、先生がおっしゃったように、わら細工を子供に持たせるとかは、通常の見学コースでも出来ると思いますので、そういうのを随時考えていきたいと思っています。</p> <p>展示の方は、いろいろな意見を聞きながら、少しずつリニューアルしていこうかなと思っています。</p>
<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>私が思ったのは、提灯とか行燈とかあれば、もし可能であれば、箱の中を開けて見せてあげた方がいいのでは。見せてあげた方がより分かりやすく、こんな感じで使用していたのかと理解できるのでは、と思います。</p>
<p>(事務局) 井上総括主査</p>	<p>確かに、そういう道具が結構多いので、具体的にその使い方を考えたような展示も行っていかなければ、いけないと思っています。</p>

<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>そうですね。小学生とかいろいろな方々が見学されるでしょうから、いろいろな意見とか感想をいただきたいと思いますので、説明の方も子供たちにも分かりやすく、やっていただいて、少しずつ改良していただくとありがたいと思っています。その他、委員の皆さんからご意見、ご質問はございませんでしょうか。</p>
<p>(副委員長) 越谷副委員長</p>	<p>二点ほどございます。一つは、資料の 16 ページの所に「わたしたちのたきざわ」の写真がありまして、その真ん中に子どもが書いた「かまど」の絵とそれに関するコメントがあるのですが、こういったことを展示を見に来た子ども達にも、してもらおうという企画も考えているのかという点が一つです。</p> <p>あともう一つは、18・19 ページの所に申込書がございます。別に申込書の内容ではなく、こんな物を見せたいとか、だいたい時間はこれぐらいですよみたいな標準コースみたいなイメージがあれば先生も分かるのではないのでしょうか。</p> <p>先生も異動があるかもしれないし、新しい先生も来るかもしれませんが、標準コースとか、この人数だとどのくらいの時間がかかるかなど、具体的な内容があるとわかりやすいと思いますが。</p>
<p>(事務局) 井上総括主査</p>	<p>いろいろな見学の仕方があると思います。埋文センターもそうですが、小学校の低学年と中・高学年では説明の仕方が変わります。例えば、低学年はすぐ飽きて、説明をしても聞かないので、30 分間自由に見て、興味のあるものだけ聞きなさいという形で行っています。</p> <p>高学年だと、ちゃんと説明をして、越谷先生がおっしゃったようなメモ等も対応できると思います。</p> <p>これについては、学校の先生と相談し、聞きながら解説を行っていききたいと思っています。</p>
<p>(事務局) 大井主事</p>	<p>ちょっと補足ですが、かまどの件ですけど、実物が無いため、近いもので生活様式が分かるような物を置いてはいます。</p> <p>特にお米作りの所は、分かりやすいように、脱穀してから粃を飛ばしたりというような唐箕とかを順番に並べております。なるべく副読本に近づけて見せるように出来ればと思っています。物が無い場合はあるものを使いながら見せられればよいなと考えておりました。以上です。</p>

<p>(副委員長) 越谷副委員長</p>	<p>実はですが、かまどの件を聞いたのは、大学生に実際教えているからです。石炭が出るのですが、実際、石炭を知っている生徒が少ない。それくらい時代が変わっているし、自分も歳をとったと思ってしまいます。それで「かまど」の話が出てきたので、今の子供にそういうのでイメージが湧くのではと思いました。もちろん、高学年ではないと無理だとは思いますが、実際の物を見て、お米というのは電気で炊くのではなく、このように炊くということを理解してもらう意味での教材を活かすということだと思いますので、今後ご検討していただければと思います。</p>
<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>はい。ありがとうございます。では、今のご意見を活かしながらやっていただければと思います。副読本に「かまど」の記載があるのに、展示にはないので、写真でもいいので展示してあげた方がよりイメージが湧くのではと思いますので、よろしくお願いします。</p> <p>その他、皆様からご意見、ご質問はございませんでしょうか。では、無ければ、今日の議事については終了させていただきます。ありがとうございました。</p>

閉会時刻 17時00分

上記のとおり会議次第を記載し、その相違なきことを証明するためにここに署名する。

令和2年 月 日

委員長

会議録署名人

これは原本である。

令和2年 月 日

滝沢市文化財調査委員会議

委員長 光井 文行